

ファーマパッケージング事業の成長戦略

2022年5月18日

取締役 ファーマパッケージング事業部長

岩佐 昌暢



本日の発表内容

1 損益の推移（2020年度～2021年度）

2 市場環境および成長戦略

3 商品ポートフォリオの拡充と市場カバー率の拡大

4 安定供給体制の整備

5 生産性の向上

損益の推移状況

[単位：億円]

勘定科目	2020年度	2021年度	増減額	対前年比率
【売上高】	448.0	524.9	+76.9	117%
(うち外部顧客への売上高)	386.6	463.6	+77.0	120%
【売上原価】	365.7	420.4	+54.7	115%
【売上総利益】	82.3	104.5	+22.2	127%
(売上総利益率)	18.3%	19.9%		
【販売費及び一般管理費】	62.4	75.6	+13.2	121%
【営業利益】	19.9	28.8	+8.9	145%
(営業利益率)	4.4%	5.5%		

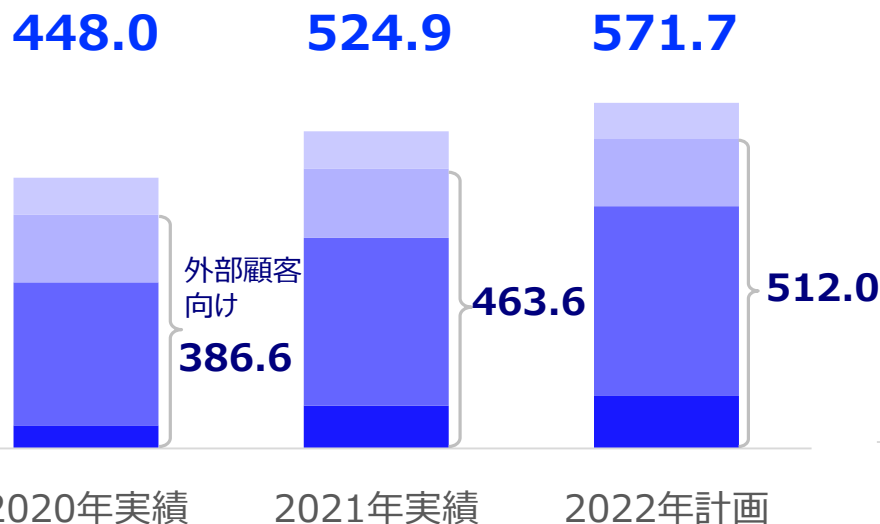
地域別の損益推移

[単位：億円]

売上高

2020-2021年度の増収要因

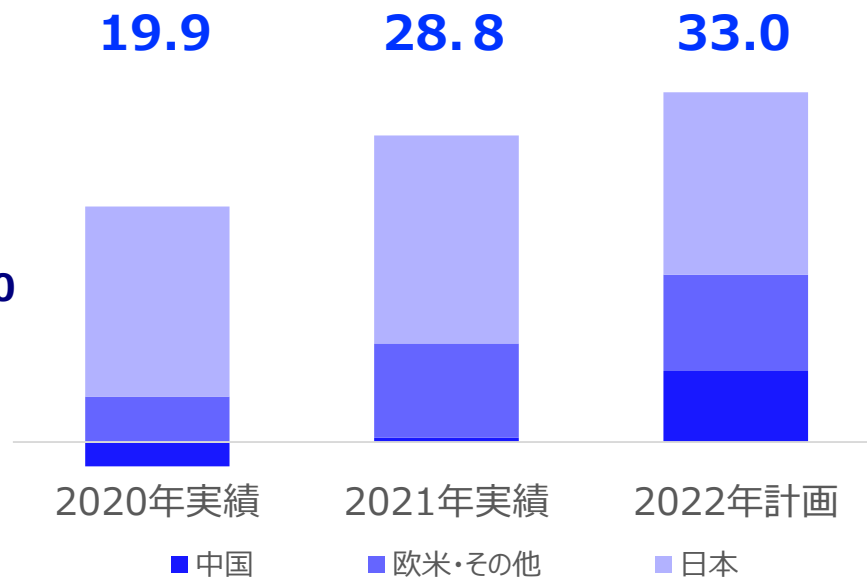
- ◆ 中国におけるコロナワクチン用バイアルの拡販
- ◆ 欧州における滅菌済シリンジの出荷増
- ◆ 日本における輸液システム製品の増加



営業利益

2020-2021年度の増益要因

- ◆ 各地域における製造所の操業度向上
- ◆ 滅菌済みシリンジをはじめとするプレミアム品の出荷増



■ 中国 ■ 欧米・その他 ■ 日本 ■ 他セグメント向け

通貨	2020年実績	2021年実績	2022年計画
USD (米ドル)	106.43	110.37	115.00
EUR (ユーロ)	121.97	130.34	128.00
CNY (人民元)	15.42	17.12	18.30
INR (インドルピー)	1.45	1.50	1.50
RUB (ロシアルーブル)	1.46	1.49	1.00
HRK (クロアチアクナ)	-	17.42	17.41

市場環境

医療先進国

- 注射剤から経口・徐効製剤への移行
- ペイシャント・フレンドリーなデバイスの浸透

医療新興国

- ジェネリック薬品向け容器の需要急拡大
- グローバル基準容器への移行

全世界共通

- ポスト・ウィズコロナを見据えたヘルスケア政策推進
- 予防・在宅医療の推進
- ワクチンや感染症薬の安全保障・サプライチェーンの再構築
- 製剤メーカーのReady to Use品への移行

成長戦略

- 国ごとの需要とトレンドに応じた製品供給・開発
 - …Key Word「商品競争力の向上」「市場カバー率の拡大」
- 地産地消による各市場ごとのプレゼンス向上
 - …Key Word「安定供給体制の整備」「生産性の向上」

成長戦略の概要

商品競争力の向上

- 顧客ニーズの迅速な商品化
- 価格競争力に秀でた開発体制
- 既存商品の高品質化・高付加価値化
- 新規医療用デバイス機器の開発

安定供給体制の整備

- 生産能力の段階的増強
- 地産地消のための製造拠点設置
- BCP対応の整備
- 柔軟なサプライチェーン体制の構築

市場カバー率の拡大

- 新規市場の開拓
- 成長市場における販促強化
- プレミアム製品のシェア向上
- ワンストップソリューションの提供

生産性の向上

- 工程の自動化
- 製造拠点間の生産ミックスの最適化
- 製品ポートフォリオの合理化
- グローバルスケールでのサプライチェーンの高度化

商品ポートフォリオの拡充・市場カバー率の拡大



■ シングルユースバッグ

- 製薬会社の製剤開発・製造時間の短縮に貢献
- ISO13485取得工場で製造・3極薬局法対応
- 溶出物試験の結果等をバリデーション・ガイドとして提供



■ LInC™ (滅菌済シリンジ)

- 当社の滅菌済ガラスシリンジ(D2F)にルアーロックアダプタ+キャップ+クロージャーを装着することで密閉性および操作性を向上



■ Vialex™ (バイアル)

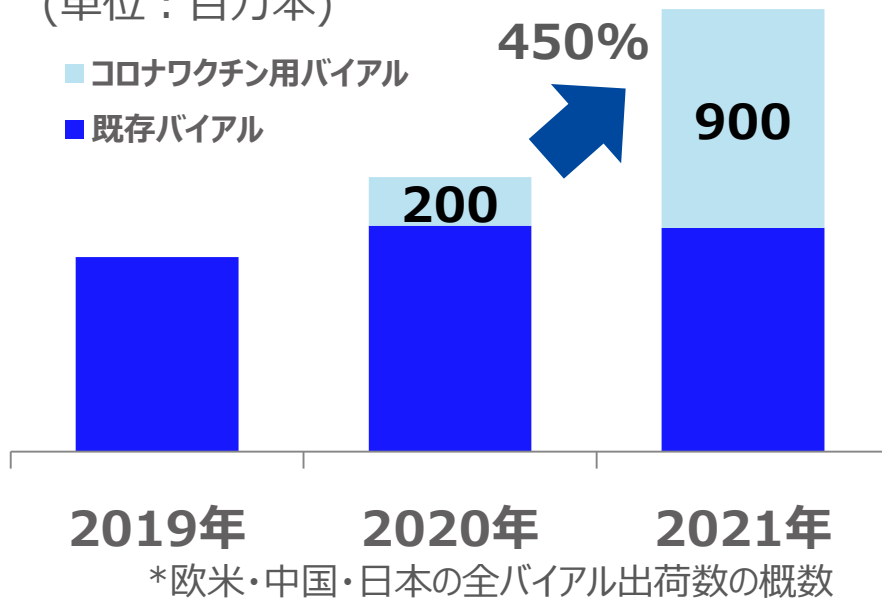
- 溶出物を極小化した医薬品用ガラス容器
- 欧州・アメリカ・インドで多数の新規プロジェクトが進行中
- 日本・ドイツ・アメリカの各工場で製造可能
- 2022年は約30百万本をグローバルで供給する見込み



商品ポートフォリオの拡充・市場カバー率の拡大

■ Covid-19用ワクチン

(単位：百万本)



- 欧米・中国、日本においてCovid-19ワクチン用のバイアルを供給、世界の保健衛生の向上に大きく貢献



- 日本においては、当社グループ企業がワクチンの受託製造を行った際に当該製剤用のバイアルを製造

安定供給体制の整備

- 医薬品の一次ガラス包装容器の需要はコロナ以前から大きく伸長
- 以下のバリューチェーン内の製品群について、生産キャパシティの大幅な拡張を実施中

医薬品の一次容器製品のバリューチェーン

内は増産対応中の拠点(国)を表示



※パーセント表示は、2023年末時点での生産能力の増加割合

安定供給体制の整備（ガラス管工場）

- フランス・オマール工場にて増築中のガラス管工場が本年竣工予定
医薬品容器用のガラス管の安定供給体制を一層強化
(医薬用ガラス管の生産能力は83%増-2022年末時点)



新工場の建設状況（2022年4月）



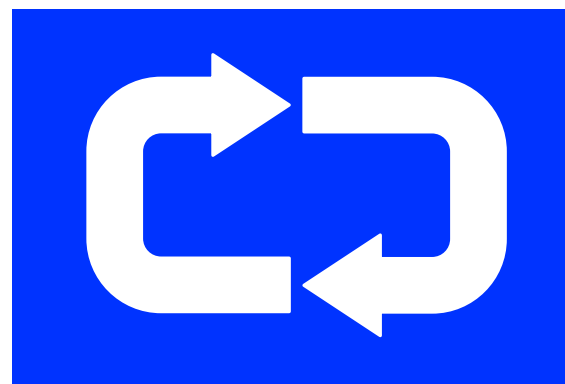
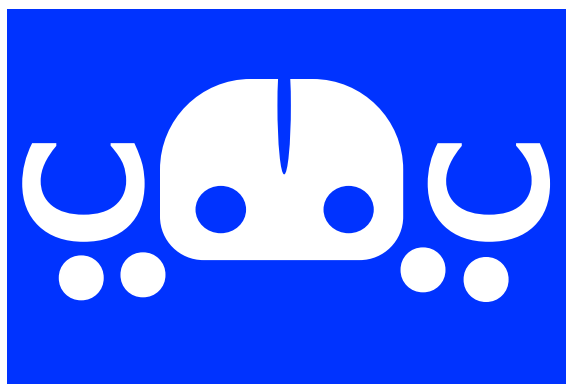
新工場の完成図（2022年8月予定）

生産性の向上

フル自動化の取組

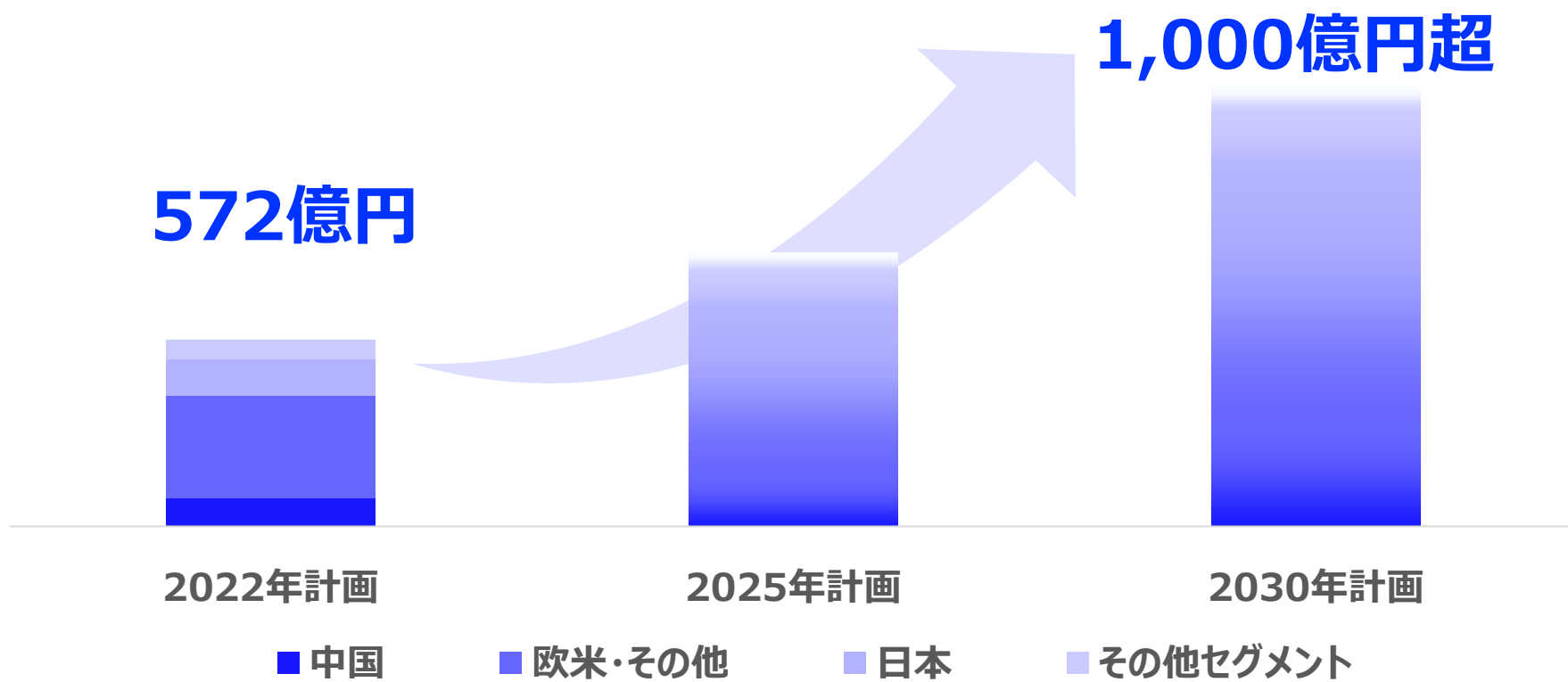
製造拠点・製品ポート
フォリオの最適化

グローバル・サプライ
チェーンの高度化



- 生産性向上とコスト削減の両輪により、筋肉質な生産体制を実現し、インフレーション・コストの逆境を跳ね返す。
- 営業利益率の向上、フリーキャッシュフローの最大化を目指す！

2030年に向けた売上高目標値



➤ 引き続き各エリア毎の目標を堅持し、成長戦略を遂行することで、2030年 売上高1,000億円を目指す。

ファーマパッケージング事業部は、
医療・医薬の分野で培った技術とノウハウを基に、
医薬用総合容器メーカーとして、
真に必要とされる**先進的商品を供給**することで
事業拡大を行い、
世界中の人々の健康に貢献して参ります。